

館はきれいに直してしまおう。これでは、日光のよさがなくなってしまう。日光に行つて昔からの古い木造建築を見ると、ほんとうに気も休まるし、いいなと思うのに、どうしてあんな鉄きんコンクリートやピカピカの住宅などに住もうとするのだろう。私には理解できない。日光の歴史的なふんいきを残すためにも、数少ない木造建築を大切に残していきたい。

ところで、もう一つ私の考えている未来の日光には、次のような工夫がある。それは、二社一寺で、中学を出たばかりの、美術や絵や彫刻が大好きでしようがないという人たちに、無料で、技術を教えて、職人に育てるとう施設を作ることだ。

未来の日光

日光中三年

岩間小百合

中学校3年最優秀



日光が大発展することが今後予想されるだろうか。人口が十倍以上になったり、観光客が今の十倍にもなったりするだろうか。このようなことを可能にするために今後の

これは、日光の重要文化財などを修復するために考えたことだ。日光市民が自分たちの手で、重要文化財を直す。また、それだけでなく、それに使用する『うるし』は小来川の余っている荒地を利用して作る。こういうことをすればもつともつと他の所から、

「日光はほんとにすばらしい。見る場所もいい所があるが、日光市民の心がけは最高にすばらしい。私たちも日光をみならおう。」

というような声が、広まるだろう。また、日光のよさをしたって、日光で働こうとする人も増えるにちがいない。

この古めかしさの似合う日光をこのまま残していきたい。

日光が取るべきことは、観光を生かすことだと思ふ。

自然と人工の巧みな組み合わせが、日光ほど恵まれていた所はないであろう。私は、修学旅行で奈良・京都に旅して、古い歴史と、古都のただずまいに感動したが、むしろ日光の良さを再発見したような気がする。

では、この日光の美しさをどのようにして日光発展の中心にすることができのだろうか。

日光のPRを全国各地で行えば良いと思う。日光の周辺の人は、ほとんど訪れていると思うので、日光から遠く離れた土地を対象にして、大キャンペーンを行えば良いと思う。そして、来てもらったら、もう一度来たくなるようないろいろなサービスを考えたら良いと

思う。

例えば、半額割引宿泊券を発行したり、日光名物をホテルや旅館の食事に多く出したり、お土産に日光のおいしい水を持たせてあげるとか、いろんなアイデアがあると思う。そうすれば、日光に泊る客が増えるし、日光に落ちるお金も多くなるはずである。

どうせ一度しか来ない観光客だから……と考えるより、何回も来て下さいと真心で接することが、大切なことだと思ふ。

観光に力を入れる一方、人口の流出を防がなければならぬと思う。古河関係の人口が今市、宇都宮、福井などに流れてしまうので新細尾、安良沢、丹勢地区の住宅を個人住宅用に造成して、定住してもらうようにすれば良いと思ふ。

今、人口は二万三千人位だと思ふ。だから三万人位までになるようにいろんな計画を立てて、それを実行してもらいたいと思ふ。

美しい日光市、活気のある日光市、住んでいることに誇りがもてる日光市になるように、市民の一人一人が、真剣にそのことを考えて実行する時は、今だと思ふ。

「未来の日光」作文コンクール審査委員名簿

市教育委員長	野尻惣一郎
市教育長	星野聰郎
市(税務課)文化部長	北村豊彦
市学校教育課長	五月女利久
日光小教諭	星野和子
清滝小	手塚幸子
野口小	小川紀子
中宮祠小	笹川美穂子
所野小	早川良男
小来川小	柴田光男
安良沢小	五十嵐光子
日光中	早川俊英
中宮祠中	砂岡史子
東中	関貢子
小来川中	加島登美子